

## 6 芸術（音楽）

学校番号

208

### 令和3年度 芸術科〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	音楽Ⅲ 改訂版（教育出版）						
副教材等	MUSIC NOTE （啓隆社）						

#### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を年間通して学習します。
- ・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
- ・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみても価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
- ・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

#### 2 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

#### 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評 価 方 法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 ギター リコーダー シロフォン 「ディズニードレー」	○	○	○		a: 音楽Ⅰ・Ⅱでの学習を発展させて自ら楽器を選択し、楽器の特徴を生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b: 音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 選択した楽器の音色やリズム奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 ます (斉唱・原語)	○	○	○		a: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b: 旋律、リズム、速度など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c: 表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リズムアンサンブルを楽しもう	【創作】 レッツゴーのリズムによるコンストラクション		○			b: リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感じながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
2 学 期	日本の民謡の特徴や日本の心を感じ取ろう	【鑑賞】 「民謡の特徴1」 「民謡の特徴2」	○			○	a: 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d: 音楽を形づくっている要素を知覚、感受しながら、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して、それらの価値を考えたりして、民謡に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	【歌唱】 この道	○	○	○	a:「この道」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心を持ち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:「この道」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リコーダーアンサンブル	【器楽】	○	○	○	a: リコーダーの基礎的な奏法の特徴に関心を持ち、いろいろな奏法を身に付けて演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:自分なりのイメージを持ち、リズム、旋律、強弱など、音楽を形づくっている要素の変化と、これらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: アルトリコーダーの音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート
	日本の音階で旋律をつくろう！	【創作】 「民謡音階」 「都節音階」 「律音階」「沖縄音階」から音階を選択し、旋律を創作	○	○	○	a:我が国や郷土の音階の特徴に関心を持ち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 b:我が国や郷土の音階の特徴を知覚し、その醸し出す雰囲気を感じながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	3学期 ギターアンサンブル挑戦しよう	【器楽】 練習曲	○	○	○	a: ギターの音色や奏法の特徴に関心を持ち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感じながら、を生かして表現し、他の声部とのかかわりに工夫している。 c:演奏するために必要なギターの技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※ 表中の観点について a:音楽への関心・意欲・態度      b:音楽表現の創意工夫  
c:音楽表現の技能      d:鑑賞の能力

※ 原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の3観点で、「鑑賞」の分野は a, d の2観点で評価をする。

※ 年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。